

# はじめての国土地理院地図

古川 玲

## 日本の地図・地形の総本山 「国土地理院」

### ● 基礎知識

国土地理院(写真1)は、国土交通省の特別な機関です。

- 日本の国土の位置、重力、地磁気に関する測定
- 地理空間情報の管理/提供/地域連携
- 国土の地図や空中写真の整備/更新
- 防災および環境保全に必要な地理空間情報の整備
- 電子基準点の運用
- 地殻変動の監視
- 験潮、宇宙測地
- 公共測量の指導

などの役割を担っています。

古くは明治時代より民部省/内務省/兵部省/陸軍省/参謀本部が実施していた「大三角測量や三角測量、水準測量を担当する機関」として、戦後、地理調査所が発足し、その後、国土地理院に改称されて現在に至ります。

国土地理院の本院は現在、茨城県つくば市にあり、全国各地に地方測量部・支所が配置されています(図1)。本院には地図と測量の科学館が併設されており、一般向けにも地図や測量について学べる展示が公開されています。



写真1 日本の地図・地形の総本山「国土地理院」は茨城県つくば市にある

### ● 目指していること

国土地理院では従来、紙の地図を整備、管理していましたが、1980年代以降、地図データは徐々にコンピュータで管理、編集されるようになってきました。阪神大震災をきっかけに災害情報と地図とを重ね合わせる活用が有効だと認識され、2007年に地理空間情報を整備し活用する法律として「地理空間情報活用推進基本法」が制定され、その後、2008年に「地理空間情報活用推進基本計画」が策定されました。

基本計画では、

誰もがいつでもどこでも必要な地理空間情報を使ったり、高度な分析に基づく的確な情報を入手し行動できる「地理空間情報高度活用社会」の実現を、産学官が一体となって目指すこととしております。

## 国土地理院が提供する地図

国土地理院が提供する地図にはさまざまなものがありますが、ここでは以下の2つについて紹介します。

### ● その1…地理院タイル

国土地理院のWeb地図「地理院地図」で提供している地図などのデータです。基盤地図情報は、あるエリアの全データをダウンロードしてから、必要なデータだけを抽出するので、パソコンでの処理時間が掛かります。地理院タイルは目的ごと整理された地図の中から、対象エリアのデータをダウンロードしてくるので、パソコンに負荷がかかりません。

### ● その2…基盤地図情報

国土地理院では、地図における位置的整合を確保する仕組みの共通白地図の骨格となるものとして、「基盤地図情報」を整備しています。この基盤地図情報には、

- 測量の基準点
- 水域
- 海岸線
- 水部構造物面
- 行政区画
- 水部構造物線
- 道路縁
- 建築物